

CSWにゅーす TOKACHI

平成28年10月14日(金)発行 第50号
発行:(公)北海道社会福祉士会十勝地区支部
支部長:東村 智之
編集:広報連携委員会

新役員紹介第2弾!

ということで、今年度から新たに副支部長になった石川副支部長、川向副支部長の紹介と新たに役員になった河瀬幹事と金石幹事の紹介です!!

☆石川 尚樹 副支部長☆

この度、副支部長に選出していただいた救護施設東明寮の石川です。これまでもお世話になっておりますが、これからもよろしくお願いいたします。

お題がなく、何でも自由にとの依頼で困っています。ここは社会福祉士会ですから、それにふさわしい話題をとか格調高い話をなどなど...それもすぐボロが出そうなので、今、感じたことを1つ2つ。

私は、救護施設東明寮に勤めています。皆さん救護施設をご存知ですか。名前は知っていると言っていたければ良いほうで、ほとんどの方が知らないとおっしゃいます。今日はその救護施設の宣伝ではなく、昨日の台風10号で感じた事を書きます。

まず、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。東明寮もすぐ裏手に札内川が流れており、その流れは言葉に言い表せない程の猛威でした。幅500m以上はある堤防の端一杯まで茶色い濁流がしぶきを上げ流れ下っていました。台風当夜は氾濫警戒水位を超え、利用者さんをどうしようかと考えながら一晩寝ずに施設で過ごしました。直線距離で3km程上流の地点で氾濫しましたが、施設近辺は大丈夫でした。

台風が来ることは当然事前に分かっており、これまで北海道に来たものとは違い暴風雨域もあることも知っていました。その情報を元に、事前に非常食を2階に運んだり発電機を用意したりもしました。しかし、実際に見たあの流れは想像ができませんでした。あの流れを知っていれば、まだやる事は他にもあったと思っています。私の話をもって人知と言うのはおこがましいのですが、岩手のG.H.の被災の様子をTVを見て、同じ事を思いました。改めて自然のエネルギーの大きさと人間の存在の小ささを感じた1日でした。

と書いたところで、既定の字数をかなりオーバーしてしまいました。この辺で切り上げたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



☆川向 優子 副支部長☆



この度、副支部長を拝命しました地域包括支援センター帯広至心寮の川向です。

狭い世界にいた私が短い人生の中で関わることのできるほんの少しの人たち、ほんの少しの仕事や本など...自分で抱えられるものを大事にしてきたことで、今があるのではないかと振り返っています(これまで影響を与えてくれた全てのものに感謝です)。

今年度は元上司から地域包括支援センター委員のバトンを引き受け、各地区支部の皆さんと微力ながらも運営に携ったり、十勝では主に企画調査委員として関わらせていただいたり、ぱあとあの会員として学んでいる所です。

一人が持てる時間に限りはありますが、役員・会員の皆さん(至心寮にも数名おります)と共に社会福祉士の力となるように努めていきたいと思っていますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。



☆金石 輝義 幹事☆



この度、十勝地区支部の幹事をさせて頂くことになりました広尾町地域包括支援センターの金石です。
台風10号の影響により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに被災された地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、私は介護福祉士の専門学校卒業後、介護の道に入り、現在、社会福祉士として地域包括支援センターで働いていますが、これまで主に高齢者支援ばかりで、恥ずかしいですが、その他の分野はわからないことだらけです。

社会福祉士会に入会してから、いろんな分野の方と出会い、本当にたくさんのお話を学ばせて頂き、社会福祉士会に入会していなければ得られなかった貴重なつながりだと実感しています。

まだまだ、わからないことがとても多く、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、皆様のご指導を頂きながら、少しでも会の活動に貢献できるよう地道に頑張りますので、よろしくお願いいたします。

☆河瀬 貴 幹事☆



今期から地区支部幹事になった上士幌町社会福祉協議会の河瀬です。これまでも協力員として、成年後見・権利擁護委員会委員長をさせていただいていました。

社会福祉士の国家資格は、昭和62年に私が大学卒業と同時に施行された制度です。私が大学で取得した単位は認定にならず、通信教育で同じ単位を取得し直しました。しかし、この社会福祉士という国家資格は私達の悲願であり、念願の資格でした。

それまでも、十勝には素晴らしい諸先輩方が大勢おり、その先輩方に憧れ、刺激を受け、目標としてこれまで活動して来ました。

これからも、専門職としての自覚を持ち、会員相互の資質向上が図られ、より良い援助活動が行えるよう、地区支部に関われればと思います。

「人と人とのつながり」は宝であり財産です。もっともっと、十勝の仲間同士がつながり、より良い影響を受け合える支部になれるよう協力しますので、よろしくお願いいたします。

活動報告 ～H28.8からH28.9までの活動を報告します。

社会福祉士国家試験 受験生支援企画がスタートしました！！

8月20日、芽室中央公民図書館資料室にて「スタートダッシュ講座」が行われ、約20名の方が参加。会員3名からの受験体験記の後、中央法規の遠藤様より参考書等の紹介や社会福祉士会からは模擬試験の案内をさせていただきました。

～以下に参加者のご感想を紹介致します～

- ・昨日は貴重なお時間を頂き大変感謝しております。やはり仲間がいることはいいですね。
- ・一人では全くやる気を出さない自分なので、皆さんと一緒に「攻めの受験」ができたと思いました。
- ・皆様の意気込みやこのような会を通じて共有したいという思いを感じ、モチベーションに繋がります！勉強会や情報交換を生かして共通の目標に向かい頑張りましょうね。



ハイ チーズ☆

8月21日(日)、帯広市社会福祉協議会主催の「社協フェスタ&わいわいタウン帯広2016」に、イベントボランティアとして参加してきました！



社会福祉士会は、身体障害者福祉協会の会員とともに「焼きそば、ブースにてお手伝い。身障協会の方々のご協力にて切り分けられたお肉や野菜、麺を、鉄板の上で調理し販売をおこないました。

当日は台風も接近する予報で心配でしたが、社協フェスタが始まると、雨風ともに落ち着き、用意した120食余りが13時前には完売と、大盛況のうちに終わりました。これもやはり、みなさまの福祉に対する日頃の行いのおかげでしょうか！？

道東のつどい 2016

【9月3日(土)～9月4日(日)津別町でてこいランドにて開催！】



今年の道東のつどいは、「私の社会福祉士像とその実践」と題し、2007年に道東地区支部が3地区支部に分かれたときの支部長3名をお招きして、3名それぞれの社会福祉士としての実践についてご講演いただきました。

とても聴きごたえのあるお話をたくさんしていただき、予定時間では足りないほどでした。

夜は、オホーツク地区支部の皆様の心のこもったおもてなしと美味しいお肉やお酒で夜中まで楽しい宴の時間が続きました。

普段あまりお会いすることのない、他地区支部(釧根、オホーツク)の社会福祉士の方々との交流もでき、とても充実した「つどい」になりました。



権利擁護セミナー

【今年は9月24日(土) 帯広市グリーンプラザにて開催！！】



9月24日権利擁護セミナーが帯広市グリーンプラザにて日本社会福祉士会ぱあとなあ担当理事の鹿嶋隆志氏、日本社会福祉士会理事・北海道社会福祉士会理事でもある竹田匡氏を迎えて開催されました。

当日は、鹿嶋氏より「成年後見制度利用法と民法の一部改正」について解説していただき、裁判所の求める姿と専門職としてかかわる必要性について学びました。

その後、鹿嶋氏に竹田氏、北海道ぱあとなあ運営委員の清野祥子さんを加えて「障害者の権利条約・差別解消法からみえてくる意思決定支援と合理的配慮を考える」との題で鼎談が行われました。意思決定支援を行う上で大切なことは何か。普段の支援を一般化し言語化して行くことの大切など、日常では深く意識しない示唆に富んだ話題に学びを深めることが出来た研修会でした。



基礎研修レポート

社会福祉士会の生涯研修制度は、社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、研鑽を重ねることを支援する制度です。その土台部分となる「社会福祉士基礎研修」ですが、今年度より基礎研修Ⅲにも十勝会場が加わり、基礎研修Ⅰ～Ⅲが十勝で受講できることになりました。

7月9日(土)には基礎研修Ⅲ 権利擁護・法学系科目「意思決定の支援」が、ぱあとなあ北海道 清野祥子会員を講師に迎え十勝で初開催されました。権利擁護という概念を支える理念や根拠についてや、世界・日本国内における法制度の変遷と解釈等について講義を受けました。意思決定支援のなかで興味深かったのが「ベスト・インタレスト」というお話。支援者は「こうするべき、こうしたほうがいい」といったパターンリズムを排除し、意思決定にかかわる行為に関して慎重になること、あくまでも支援者は意思決定に関して限定的な支援にとどまり、本人の「決定する行為」に至る過程を大切にする視点を理解すると同時に、これからの実践に役立てたいと感じました。午後からは事例を通してグループワークをおこないました。また、これまでの生活の中でパワーレスに陥ったクライアントに対し、面接を通してどのようにエンパワメントを促していくのかという内容でロールプレイと振り返りをおこない、こちららまた自らの実践を見直すよい機会となりました。(基礎研修Ⅲ 石井 康浩)

にゆーすでは、不定期掲載ではありますが、ベテラン会員さんの社会福祉士会に対する思いや、会員の皆様それぞれが思いを自由に語っていただけるようなコーナーを作っていきたいと考えています。

第1回目は、「十勝地区支部に願うこと」と題して、特別養護老人ホーム太陽園 施設長の杉野全由さんにこれまでの社会福祉士会や社会福祉士としての活動について語っていただきました。

十勝地区支部に願うこと～提言できる組織に～

皆さまの日頃のご活躍に心から感謝と敬意を表したいと思います。また、この度の台風で被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

<少し昔の話ですが・・・>

個人情報保護法よりかなり以前、高校も専門職の合格発表も新聞に掲載されていたことを覚えている方はおられますか？古い話ですが、私が第8回社会福祉士に合格したときも、新聞の全道版に合格者氏名が掲載されておりました。誰が合格したのかがすぐにわかるので、会員拡大のための連絡もすぐにできた一方、社会福祉士としての責任と自覚も一挙に押し寄せてくる印象があったかと思います。しかし、札幌で仕事をしていた頃は、取得して終わりなのかと思うほど、資格の持つ意味や役割についてよく考えていませんでした。加えて、社会福祉士の顔が見えにくい土地柄、地域性などもあったかと思います。このような、悶々とした環境が一変したのが、2000年に帯広に戻り、たくさんの個性的な仲間に出会ってからになります。

2000年7月に、数年前から活動していた組織が正式に「十勝社会福祉士会」として誕生しました。会員数は約50人程（ほぼ十勝の社会福祉士は全員加入）で、初代会長はつつじが丘学園の北條施設長（故人）でした。ベートーベンのような風貌で、会議や研修会が一番前に陣取り、周りの人々を自分に吸い付けてしまうような人。いつも「社会福祉士って何だ？」「専門職として！」「成年後見を広げよう！」と議論が白熱、お酒を飲むともっとヒートアップします。怖いものなしと言って良いほど、色々なことを皆で考えて、行動して、また振り返るといった活動の連続だったと記憶しています。

<自治体への提言の必要性・・・>

2003年頃に、成年後見制度への取り組み姿勢がはっきりとしない帯広市に対して、申し入れと提言を行い、団体交渉に近い話し合いを何度か行ったことがあります。今では、多くの自治体の審議会や委員会に会員が参加し、意見を述べる機会や社会福祉士の立場での活動が増加しています。

一方で、様々な制度や仕組みが変更になる際には、パブリックコメントで意見を求められる機会もありますが、権利擁護や生活困窮者支援をはじめとした様々な生活課題に対して、十勝地区支部として今後もしっかりと意見を述べていくことも大切ではないかと考えます。新しい支部体制で共に頑張っていきましょう！

今後の予定・お知らせ

今後の予定:

- 11月5日(土) 午後5時～午後7時半 帯広畜産大学 かしわプラザ

2016 社会福祉セミナー「夢再発見～介護×看護×地域＝∞～」

* 詳細は同封の社会福祉セミナーの案内をご参照ください。

- 11月23日(水) 午前10時～午後3時 とかちプラザ大集会室

10士業合同くらしの「よろず」無料・相談会

* 詳細が決まりましたらお手伝いいただける会員の方を募集致します。

お知らせ:

(公)北海道社会福祉士会十勝地区支部の『ホームページ』ができました！！

URL:tokachi-csw.org もしくは「北海道社会福祉士会十勝地区支部」で検索できます。

今後、研修の案内やお知らせなども随時更新していく予定ですので、ぜひ、のぞいてみてください。

